

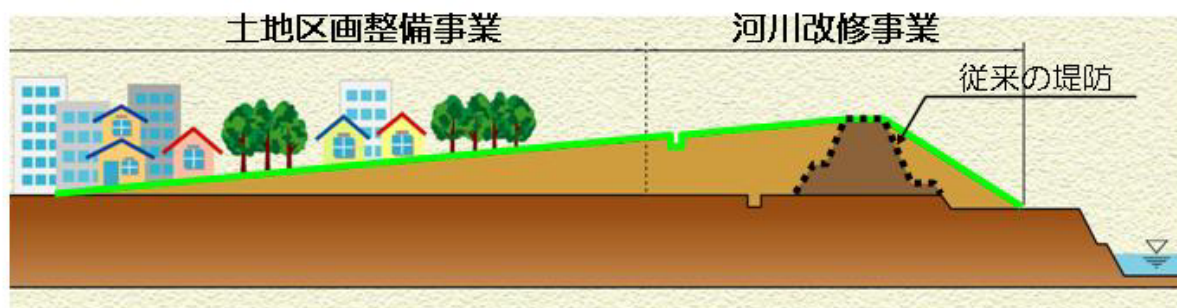
堤防強化対策

堤防強化対策



土地区画整備事業と連携して
洪水に強い堤防をつくります

- ・弱い地盤の上に、傾斜が緩く幅の広い堤防を作ることによって、安定した堤防となります
- ・市街地の地盤が高くなるため水害に遭いづらくなります
- ・川へのアクセス性、親水性が向上します



豊平川の下流部は昔は湿地帯だったため、泥炭を含む軟弱な地盤が分布しています。このため堤防の重みで地盤が歪み、堤防が変形したり崩れやすくなったりすることがあります。またもともと標高が低いため、浸水しやすい地域でもあります。

東雁来地区においては、水害に強い都市基盤をつくるため土地区画整理事業と連携して川から掘削してきた土砂を従来の堤防に併せて盛土し、傾斜が緩く幅の広い堤防を作る工事を進めています。

この工事により安定した丈夫な堤防が作ることができ、併せて住宅地の地面を高くなるため水害に遭いづらくなり、さらには堤防が緩やかになるため市民が川に近づきやすくなります。